

第2回 新しいしごとづくり会議

2013年6月10日(水)

13:30~16:00

会場：サンライフ笠岡

笠岡に新しい仕事をつくることを通して、笠岡の産業の未来像を考える「新しいしごとづくり会議」。

前回の全体会議から、それぞれの部会毎にチームミーティングも行なわれました。そこで出たアイデアをもとに、より具体的なしごとの企画をみんなで考えました。

■ 当日のプログラム

13:30	はじめに
13:35	前回のふりかえり
13:40	事例紹介
13:50	ワークについての説明
14:00	ワーク part1 「アイデアを企画にする」
15:00	ワーク part2 「企画をブラッシュアップする」
15:30	発表
15:50	まとめ・今後について
16:00	終了



テーブルワークの様子

■ チーム・部会の編成

前回会議の際に分かれた福祉産業チーム、地域資源型産業チーム、プラットフォームづくりチームから、さらに具体的なしごとを考えるグループとして、合計7つの部会に分かれてワークを行ないました。

福祉産業

広い意味での
「しあわせ」「ゆたかさ」
をめざして

地域資源型 産業

笠岡の資源を活かした
新しい産業

プラットフォーム づくり

「共有する」「つながる」
場づくり

高齢者部会

- －高齢者の働く場づくり
- －高齢者を助ける買い物支援 など

障がい者・女性部会

- －女性の働く場づくり
- －就労支援の場づくり など

島部会

- －島・空き家を活かした観光
- －石を活かしたアート など

干拓部会

- －干拓地の活用方策の検討
- －干拓地への企業誘致 など

食部会

- －笠岡の食の資源を活かした産業
- －食と農の知恵をもち寄る
プラットフォーム など

人材育成部会

- －小中高のしごと体験の場づくり
- －創業支援の仕組みづくり など

情報発信部会

- －情報発信の仕組みづくり
- －異業種交流の仕組みづくり など

しごとのアイデアを企画にする

笠岡で行なうしごとのアイデアを、実際に企画にしていくにはどうしたらよいか話し合いました。

□ 企画ワークシート

新しいしごとの名前を記入	
誰が 誰がやるのか。どんな人材が必要か。組織体制は。	目的 なぜそのしごとが必要なのか。 公益性はあるか。 達成したい目的は何か。
誰に ターゲット層（性別・年齢・エリア・趣向）	
何を 商品・サービスの内容	時期 どの時期に事業をはじめるか。
どのように 方法・ノウハウ	新しいしごとのポイント
いつ 準備期間・開始時期	① ②

5W1Hに沿ってしごとのアイデアを形にしてい

しごとの企画をブラッシュアップするためのシート	
しごとの名前を記入	
ポイント① 3つの円の重なる部分が「しごと」になっているか	ポイント② 先進事例を参考に企画をブラッシュアップする
やりたいこと やりたいことを記入 夢 興味 長続きする企画 社会のニーズや課題を記入 労働 スキルや利用可能な地域資源などを記入 社会が求めること できること	参考になる事例① 事例の名前を記入。 参考にするポイントを記入。 参考になる事例② 事例の名前を記入。 参考にするポイントを記入。 ブラッシュアップするポイントのまとめ

チームのメンバーと話し合い、更に詳細な企画書をつくる

□ チーム別ワークの様子



新しいしごと企画案の一例：

■ 笠岡諸島の総合案内

- ⇒ 島へ観光誘致をする上で重要な、観光スポットやおみやげ品などの情報を提供するマップを作る。

■ 干拓地の農業活性化

- ⇒ 干拓地での付加価値の高い農作物を作り、6次産業化を図る。企業の誘致を進める。

■ しごとの総合プロデュース

- ⇒ 障がい者やひきこもりなどの“働きづらい人”と仕事をつなぐ。「働きたい！」気持ちにさせる。

■ ソーシャルビジネス支援体制

- ⇒ ソーシャルビジネスやコミュニティビジネスを奨めるための体制を作る。起業しやすい環境・拠点を整備する。

第3回 新しいしごとづくり会議は下記日程と場所で行ないます。

2013年7月10日（水）13:30～16:00

場所：笠岡市保健センター

これまでの会に不参加だった方もご参加頂けます。一緒に笠岡の将来について考えたい方のご参加、お待ちしております。

* 参加をご希望の場合は、下記連絡先まであらかじめご連絡下さい。

笠岡市経済観光活性化課 E-mail: keizaikankou@city.kasoaka.okayama.jp 電話: 0865-69-2147